

論文の探し方

自分が研究するテーマに関する論文や図書を探すには、どのようにしたらよいのでしょうか？ここでは、一般的な調査の方法を説明します。

1. はじめに

自分が行った調査は必ず**メモ**を取りましょう！以下を参照してメモとってください

調査対象	メモ内容					
本	書名	著者名	出版社名	出版年	記載ページ	
雑誌	雑誌名	出版年	巻号	論文題	記載ページ	執筆者名
インターネット	サイトアドレス	HP 製作者・責任者名		閲覧年月日及び時間		

これらのメモは文献を入手する際の重要な手がかりになります。また、論文を書く時の"参考文献一覧"にも必要になります。

Google や Yahoo などネット上の一般検索エンジンでヒットする情報は玉石混交で、利用する際には、その情報の**真偽を確認**することが大事になってきます。

2. テーマをはっきりさせる。

最初に自分のテーマを明確にすることが必要です

先生と話し合ったり、自分の興味ある本やネットを見たりして、はっきり言葉にしていきます
ブラウジングという方法があります

関連図書がまとまって置いてありそうな書架の辺りの本をばらばらとめくり、自分の調べるテーマによりぴったりの内容のものを数冊ピックアップする。

キーワード決定

、 をもとにテーマに関連しそうでないいくつかの言葉を考えます

ホームページ利用案内の「本の場所」を参考にするとよい

3. 事前調査

事典・ハンドブック等で対象となるテーマについての基礎事項について調べます。例えば、テーマが人に関するならば、生没年（活躍した年代）・出生地・原綴り（外国人名の場合）等を調べておきます。事項の場合は、類義語・上位語・下位語等について調べておくと良いでしょう。

上位語（まとめられた言い方） ←→ 下位語（くわしくわけた言い方）

乗り物	自動車	乗用車、バス、消防車など
	船	客船、漁船、ヨットなど
	飛行機	セスナ機、ジャンボ機、ヘリコプターなど

4. 参考文献調査

テーマが決まったら、そのテーマについて現在までにどのような論文が発表されてきたのかを調査します。

引用文献・参考文献・参考図書一覧等を使って

ほとんどの図書（論文）の最後には、引用文献・参考文献又は参考図書一覧などからなる文献リスト（Bibliography）と呼ばれるリストが載っていますので、それらを最初の手掛かりとして順次たどっていくことが出来ます。

辞書や事典を使って

辞書や事典類にも、項目の最後に参考文献や引用文献が載っているものもあります。また、論文リストが載っているものもあります

書誌（記事索引）を使って

書誌とは何らかの基準で選ばれた図書、論文、記事等の資料一点一点の特徴を分析して、その特徴を一定の記述規則に基づき書誌データ（図書ならば、著者名、タイトル、出版地、出版社、出版年、ページ数など）に表現し、これらのデータを探索しやすいように排列したリストを集めたもの事です。どの論文が、どの雑誌（又は図書）に載っているのかを探す記事索引や、テーマ別の図書リスト等があります。記事索引には各種ありますが、記載事項はどれもほとんど同じです。また、記載事項はたいてい、主題順に並んでいますので主題から探す場合は、目次を見ます。巻末に事項索引や人名索引がついている場合もあります。図書館では参考図書コーナーに、書誌を集めています。

学術雑誌の記事索引としては、「雑誌記事索引」が全分野を収録していて代表的です。これは1階閉架書庫においてあります。

インターネット

ここ数年で最も大きな情報源になってきているのがインターネットです。使うデータベースにより結果なども異なってきますので、注意が必要です。図書館ホームページのリンク集にあるのは、信用出来るものです。また、後ほど解説している GiNii（国立情報学研究所が運営）は文献検索には欠かせないサイトで、当図書館では、2002年4月から年間一定額を払って登録し、学内のどのパソコンからでも容易にアクセスし、検索する事が出来るようになりました。論文情報のほか論文によっては本文そのものを読む事ができます。

5. 文献リストの作成

参考文献調査の結果から、読むべき文献のリストを作ります。その際に、書誌事項（論題・著者名・収録雑誌・巻号・年・ページ）出典（どの書誌でその文献を見つけたか？）は必ず記録しましょう。

*特に収録雑誌の巻号・年等は重要です。

6. 所在調査

論文が収録されている雑誌・図書をどこが所蔵しているのかを調べます。蔵書検索で調べて下さい。所蔵がない場合、は GiNii で調べ複写や本の貸借をすることができます。この GiNii は大学図書館等の図書・雑誌の所蔵や情報をみることができます。

その他の所蔵に関してはカウンターに問い合わせてください。また、インターネット上で目録検索のサービスをしているところもあるので、そちらを見ることも可能です。図書館ホームページの「リンク集」を活用してください